

インタビュー

6

Q. 作品を書いている時は、どんな気持ちですか？

A 無心で書いています。生徒が書いている「姿」を見て自分も書いているような気持ちになるときもあります。自分が筆になっている感覚かもしれませんね。

4

Q. 生徒さんに教える時に心掛けることは何ですか？

A モットーは「誠心誠意」です。テクニック的に飽きさせないようにしながら、楽しくやれるようにと心掛けています。今日の空を見て、どんな書体の「空」が合うか、想像することも書道の一つです。

7

Q. 書道家になろうと思ったきっかけは？

A 自分を表現するものは書道とドラムでした。書道家には60歳過ぎてからなろうと思っていましたが、恩師が早くに亡くなってしまい10年程早くなりました。

7

Q. 中高生へのメッセージ

A どんなに下手でもいいから自分の筆で書いて欲しいです。気持ちのこもったものが人の心を動かします。書くことで生活を豊かにして欲しいと思います。

5

Q. 今まで見た作品の中で思い入れのある作品は？

A 「藤原佐理のわび状」が心に残っています。よく約束を忘れる人だったようです。いっしょうけんめいわびている人間味あふれるわび状が心に残っています。

2

Q. 書道家のやりがいは何ですか？

A 生徒の成長を見られることがやりがいです。書くことで人間としての成長や人間力を深めている姿をみることはとてもうれしいことです。

3

Q. 書道家としての苦労は何ですか？

A 教える立場としては塾生に対して圧倒的に上手くないかならないことです。創る者としては感性を常に磨いておくことです。

インタビューを終えて

私に通っている書道塾に取材にいつてきました。緊張しましたが、いい経験になりました。先生は無心で書くとおっしゃっていました。先生は無心で書いた事はなかった。見習って書いてみようと思いましたが、電話やメールで伝えることが多くなっています。みなさんが、みなさんの手書きで気持ちのこもった手紙や年賀状を書いてみてはいかがでしょうか。

取材文／三保翼



めぐろのイメージを伝えて、ロゴを書いてもらいました。

筆を2本使って書いてみたり…



いろんな字体レイアウトで書くこと数十枚…



体でリズムをとるように流れるように書いていたのが印象的でした。



山のようにたくさん書いた中の貴重な一枚！

中高生の元気なイメージ、「めぐろ」をさわやかにめぐっている感じを表してくれました。



◀ 杉山悠翠先生によるめぐろロゴです！

先生の紹介文……

今回取材させていただいたのは、都立大学駅近くの「和翠塾」指導者の杉山悠翠先生。音楽関係の仕事と書道家を両立しているらしいです。

書道家

めぐろのロゴがでるまで

私は小学校3年生から書道を習いはじめました。書道は身近なところで商品のパッケージに使われたり映画のポスターにも使われています。最近では書道ガールズやTV番組に取りあげられることが多くなっているので、中高生の皆さんに書道家についてもっとくわしく知って興味を持ってもらいたいと思っています。